

心と体でつながる

近年の欧米共感研究を基にした
心理職としての基本臨床家としての向上を目指す学び



臨床力を飛躍的に伸ばすオンライン共感ワークショップ

日時
2020.10.25 **SUN**
10:00▶17:00



<http://btij.org/>

「新しい」共感実践

会場・定員

□ オンライン/98名
参加にはzoomプログラム(無料)が必要

受講料 12,000円(早割)

講師 鈴木孝信

(公認心理師、アダムズ州立大学
カウンセラー教育学博士課程4年、
杏林大学非常勤講師、
ブレインスポッティング
国際トレーナー)

お問合せ

お問い合わせ、
募集要項、お申
し込み等は、こ
ちらよりご確認
いただけます。



紹介ページ



「共感」は基本であり治療効果の大きな要因

昨今、欧米の治療効果研究では、特
定の治療法ではなくどの治療法にも
共通する要因に注目が注がられていま
す。その大きな1つの要因として「共
感」があげられます。

「共感」は誰でも知っていて実践す
る概念ではありますが、深く知り実践
している臨床家は少ないでしょう。近
年における欧米の共感、生理学的シ
ンクロニー、自己開示、沈黙に関する

量的・質的研究から作り上げられた
TIPモデルを体験的に学び、共感を深
いレベルで実践し始めることが「心と
体でつながる『新しい』共感実践」の
目的です。

「ブレインスポッティング」で多数
のトレーニング提供実績のある鈴木
孝信が、理解し、目撃し、実践するとい
う教育枠組みを使って、最良の学びを
ご提供します。

協力 西田正憲 (臨床心理士、公認心理師、
せとぐち心療内科クリニック)

お申込み <https://btij.page.link/aJV5>

主催 ブレインスポッティング・
トレーニング・
インスティテュート日本 (BTI-J)

【レクチャー】

共感研究のレビュー(定義、治療効果、社
会神経モデル)とTIPモデルの概要

【体験的学習】

共感のTIPモデルに基づく、自動模倣、自
己開示、沈黙の練習。ビデオ・デモンスト
レーションの閲覧とでブリーフィング

【紹介】

共感実践の心理療法「ブレインスポッ
ティング」・共感をさらに学ぶEラーニ
ング・プログラム

トレーニング内容



◇【心と体でつながる「新しい」共感実践 ◆オンラインワークショップ◆】のご案内◇

今回、【心と体でつながる「新しい」共感実践】オンラインWSが10月25日(日)に開催されます。セラピストに必須の「共感」能力の飛躍的な向上に繋がる内容となっています。

講師は心理療法ブレインスポッティング (BSP) の国際トレーナー鈴木孝信氏です。

ブレインスポッティング (BSP) は、EMDR のエキスパートであった D.Grand 博士によって、精神分析、SE、EMDR 等の影響を受けて開発され、「視点」により脳の調整(制御)を活性化させ、トラウマを【素早く】【徹底的に】処理できる心理療法です。BSP はトラウマ処理に非常に効果的なだけでなく、CPTSD、全般性不安障害、パニック障害、愛着の問題など幅広い適応ができ、欧米の臨床研究におけるトラウマ療法の効果比較でも高い治療効果が認められています。今回は、共感実践の能力向上に特化したプログラムのご案内となります。以下に紹介文がありますので是非ご覧下さい。

【心と体でつながる「新しい」共感実践】 ◆オンラインワークショップ◆

心理臨床において、クライアントのプロセスの質を大きく左右するのが、セラピストとクライアントの関係性です。この関係性はセラピストがいかにクライアントの内的な状態を自らの内的システムに映し出すかということに大きく委ねられています。これを可能にするのが共感です。

※過去のワークショップの紹介ビデオをご覧ください。

【紹介ビデオ】 <https://youtu.be/14DxcNpgovY>

※ワークショップの最新の詳細な内容が以下のページにあります (過去のWS 内容です)。

【紹介ページ】 https://peraichi.com/landing_pages/view/20200502workshopbtij

「共感」はロジャーズが注目されて以降、着目される概念となりました。一方で、曖昧な定義が避けられない性質もありましたが、近年の神経学の研究が進むことにより、共感の脳内でのメカニズムが明らかになり、包括的に理解出来るような理論が生まれてきました。このような共感研究の知見の蓄積を活用し、臨床心理士/公認心理師として必要な共感の力を深め、高い治療スキルを学んでいただくのが、このワークショップの目的となります。

当ワークショップでは、トラウマ心理療法「ブレインスポッティング」臨床や、共感研究の知見から得られた最新の「臨床力向上の術」をお伝えします。共感することは学ぶことが出来ません。共感力を引き出す具体的な方法を理解し、練習し、臨床に応用できるようにします。どんなアプローチにでも応用できる共感を学び、実際の臨床力を高めること目指しましょう。※ワークショップ内では、ストループ検査など多彩なアクティビティを予定しています。

【ワークショップ概要】

<日時> 2020年10月25日(日) 10:00-17:00 (9:30 オンライン開始)

午前：共感研究のレビュー

午後：TIPモデル

<会場> オンライン (ZOOM上)

<講師> 鈴木孝信 (公認心理師/アダムズ州立大学/杏林大学/ブレインスポッティング国際トレーナー)

<対象> 臨床心理士/公認心理師/医師/精神保健福祉士/社会福祉士/対人援助職

<定員> 98名

<参加費> 12000円(早割~10/11まで) 15000円(通常~10/12以降)

<主催/協力> BTI-J/西田正憲(臨床心理士)

<申込先>

<https://www.kokuchpro.com/event/26b6a77ffe72d37286e4d964f8a082ca/>

※臨床心理士資格更新ポイント申請予定
